

短期・中期・長期別研究費の把握について

総務省統計局経済統計課

1 課題内容

企業の研究開発の動向、特徴を把握する基本的な指標として、「短期・中期・長期別の研究開発投資比率」の把握について、経済産業省より要望があったもの。客体ヒアリングによって、記入可能性を確認し、政府全体としての重要性や結果の正確性の確保などを総合的に勘案して、採用の可否を検討する。

2 前回の議論とヒアリングに向けた検討

- ・期間別に研究費を把握する際、技術的な立証の確認までなのか、商品化までなのか、期間の定義をどのように考えるかが重要。

→研究開発に係る期間(試作品の開発まで)として改めて確認。

期間の区分については、「3年未満」に回答が集中する可能性を考慮し、「1年未満」と「1年以上3年未満」に分割。

- ・何をベースに聞くのか。研究プロジェクト単位なら可能かもしれないが、有形固定資産の購入費や複数プロジェクトにまたがる研究者の人件費などをプロジェクト単位で把握できるか。合計した場合に内部使用研究費と一致するだろうか。

→内部使用研究費との一致を確認することを意図して、期間別の研究費の合計欄を設置

- ・研究費は支出額で把握しているが、期間別となると費用ベースで管理しているところもあるのではないか。

→困難とする理由に費用ベースによる管理を追加し、実態を把握。

3 客体ヒアリングについて

2020年調査に回答した客体の中から、企業23者、非営利団体・公的機関21者及び大学等22者を選定し、書面によるヒアリングを実施した。

ヒアリング結果は別紙1のとおり、非営利団体・公的機関を除いて、回答可能とする割合は低いものであった。

4 ヒアリング結果を踏まえた事務局案

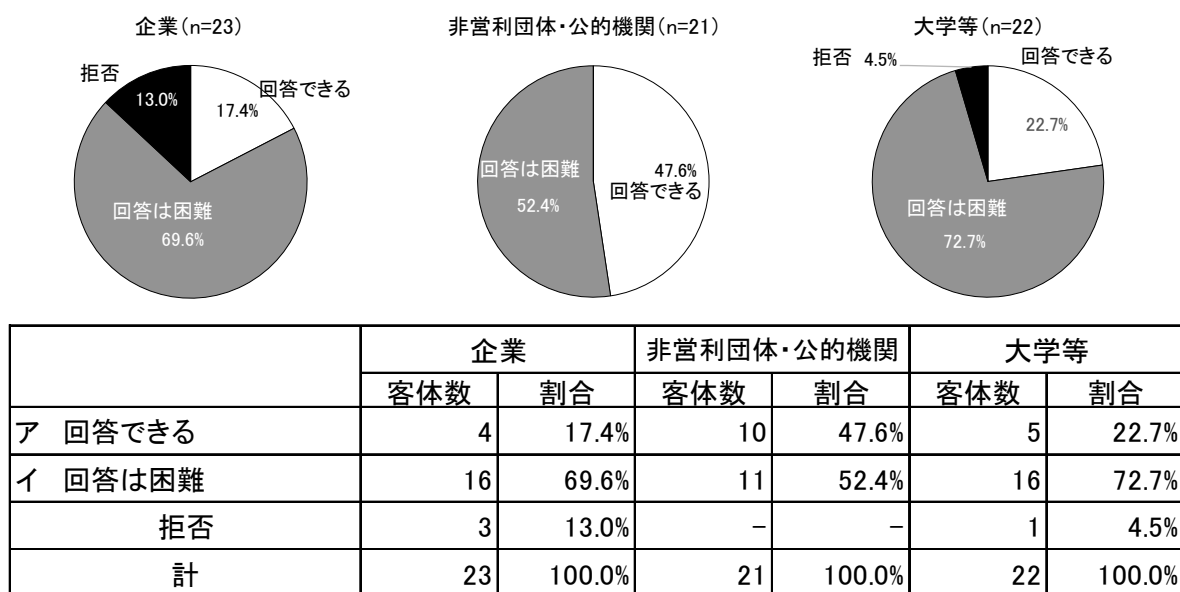
企業において、研究開発期間別の研究費を「回答できる」とした割合が極めて低く、大まかな割合による回答の可否を含めても、「回答できる」は4割に満たない。また、困難とする理由からも、回答可能性を高める事は難しく、基幹統計としての結果の正確性の確保は困難であると考えられる。したがって、本課題について、新たな調査項目としての採用は、今回は見送ることとしたい。

短期・中期・長期別研究費の把握に関するヒアリング結果

統計局経済統計課

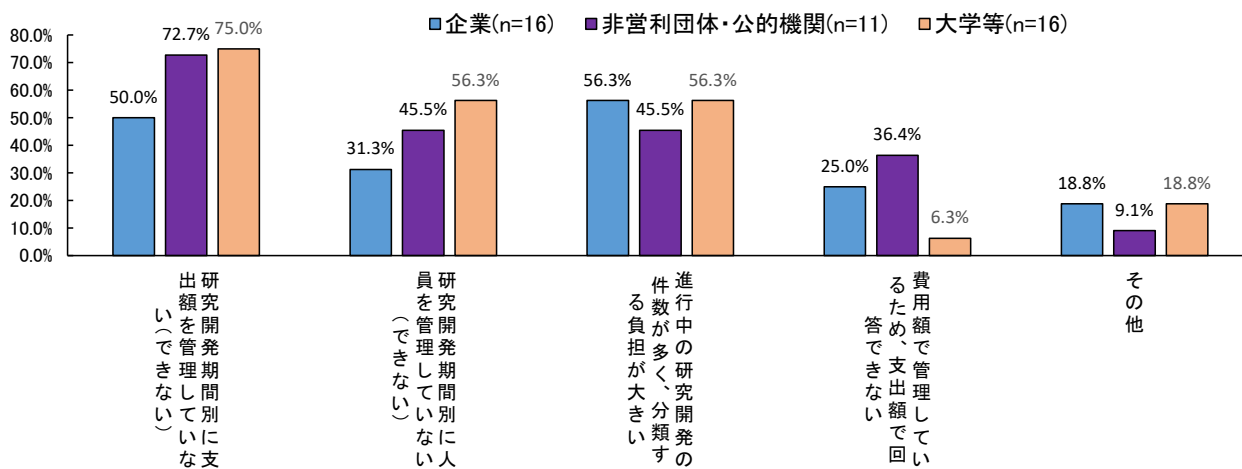
2020 年調査で回答を得た客体の中から、企業 23 件、非営利団体・公的機関 21 件、大学等 22 件の計 66 客体にヒアリングを実施。未回答・回答拒否の客体も含めて、ヒアリングの結果は以下のとおり。

問 1 研究開発期間別の研究費把握に関する回答



更問 1 「回答は困難」とした理由（複数回答）

「回答は困難」とする理由



	企業		非営利団体・公的機関		大学等	
	客体数	割合(注1)	客体数	割合(注1)	客体数	割合(注1)
(ア) 研究開発期間別に支出額を管理していない(できない)	8	50.0%	8	72.7%	12	75.0%
(イ) 研究開発期間別に人員を管理していない(できない)	5	31.3%	5	45.5%	9	56.3%
(ウ) 進行中の研究開発の件数が多く、分類する負担が大きい	9	56.3%	5	45.5%	9	56.3%
(エ) 費用額で管理しているため、支出額で回答できない	4	25.0%	4	36.4%	1	6.3%
(オ) その他	3	18.8%	1	9.1%	3	18.8%

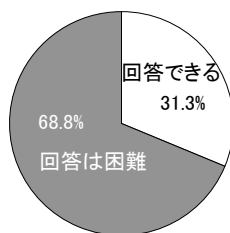
注1) 問1で「回答は困難」とした客体数に占める割合

「オ その他」の内容

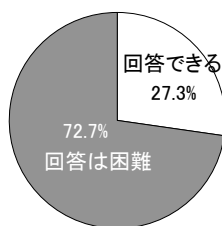
- ・ 研究員は複数の調査研究を兼務しており、回答は困難。(資本金1～10億円、学術・開発研究機関)
 - ・ 開発期間の定義を明確にするとともに、過去の研究開発費のうち、モノにならなかった減価償却分の取扱いを決めれば分類は可能。(資本金1～10億円、建設業)
- 注) 開発期間の定義や減価償却費の取扱いについては、「調査票記入上の注意」などで説明可能。
- ・ 短期と中長期という分類であれば、中央研究所の研究を中長期とし、その他の研究を短期として集計することが考えられるが、年単位での管理はしていないため、対応は困難。(資本金10億円以上、電子応用・電気計測器製造業)
 - ・ 人件費、共通経費などを按分することが困難。(特殊法人・独立行政法人)
 - ・ 費用額で回答しているため、支出額での回答は困難。(私立大学)
 - ・ 外部から受け入れた研究費以外は、研究期間別に支出額を管理していない。(公立大学)
 - ・ 外部資金に関しては、実態の把握は可能であると考えるが、学内財源については、都度確認しなければ実態の把握が困難であり、正確な分類のための負担が大きい。(国立大学)
 - ・ 民間機関等との共同研究では、事務側で詳細な研究計画が確認できず、「計画上の期間」で分類することが困難。特定時点での継続期間であれば、研究期間別分類の可能性はある。
また、政府系の委託研究に関しては e-Rad で管理、報告をしており、年度ごとに実績報告書を資金配分機関に提出している。資金配分機関側で保有している情報を元に管理することが合理的と考える。(国立大学)
 - ・ 運営費交付金からの研究費は、各教員の裁量となり、期間別の支出や人員管理を行っていない。民間企業等との共同研究や競争的資金等の外部資金は、その課題ごとに管理しているが、課題件数が膨大なため、分類する負担が大きい。
なお、競争的資金であれば、毎年度、交付元に支出額の報告をしていることから、それを集計することで、日本全体の研究期間別の研究費の支出状況は把握できると考えられる。(国立大学)

更問2 大まかな割合での回答（問1で「イ 回答は困難」とした客体）

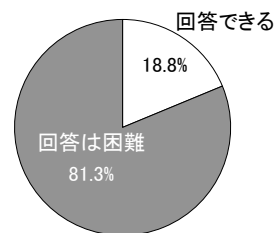
企業(n=16)



非営利団体・公的機関(n=11)



大学等(n=16)



	企業		非営利団体・公的機関		大学等	
	客体数	割合	客体数	割合	客体数	割合
(ア) 回答できる	5	31.3%	3	27.3%	3	18.8%
(イ) 回答は困難	11	68.8%	8	72.7%	13	81.3%
計	16	100.0%	11	100.0%	16	100.0%

期間別研究費（問1）又は割合（更問2）で回答可能とした客体の数

企業		非営利団体・公的機関		大学等	
客体数	割合(注2)	客体数	割合(注2)	客体数	割合(注2)
9	39.1%	13	61.9%	8	36.4%

注2)ヒアリング客体数(未回答・拒否を含む)に占める割合

(参考) ヒアリング対象企業の構成

産業	資本金規模		計
	1億円以上 10億円未満	10億円以上	
03建設業	1		1
09総合化学工業		2	2
10油脂・塗料製造業		1	1
11その他の化学工業		1	1
13プラスチック製品製造業	1		1
15窯業・土石製品製造業		1	1
16鉄鋼業		1	1
20生産用機械器具製造業	1		1
21業務用機械器具製造業		3	3
23電子応用・電気計測器製造業		1	1
28その他の製造業		1	1
29電気・ガス・熱供給・水道業		2	2
34運輸業・郵便業		1	1
35卸売業	1	1	2
36金融業・保険業	1	2	3
37学術・開発研究機関	1		1
計	6	17	23

短期、中期、長期別研究費の把握に関するヒアリング用帳票

短期、中期、長期別研究費の把握に関するヒアリング

問1 我が国では近年、研究者に短期的な成果ばかりが求められ、長期的研究がやりにくくなっているとの指摘があることから、研究開発の動向に関する実態把握が求められています。

具体的には、研究開発期間別の研究費の支出状況について、下記の質問によって把握することを検討しておりますので、回答の可能性についてお聞かせください。

〔質問文〕

「社内で使用した研究費」の「総額」について、計画上の研究開発期間によって分類し、金額を記入してください。

共通経費のように、それぞれの区分にまたがる研究費がある場合は、従事する人数などにより、あん分してご回答ください。

また、特に期間を定めていない研究開発については、「期間を定めていない」に分類してください。

総 額	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万	円
1 年 未 満										
1 年 以 上 3 年 未 満										
3 年 以 上 5 年 未 満										
5 年 以 上										
期間を定めていない										

（注）非営利団体・公的機関及び大学等用は文言を変更（「社内」→「内部」）

上記の質問案について、いずれかに○をつけてご回答ください。

ア 回答できる → 終わり

イ 回答は困難 → 以下の更問1、2にもご回答ください。

更問1 困難である理由について、以下よりお選びください。（複数回答可）

- (ア) 研究開発期間別に支出額を管理していない（できない）
- (イ) 研究開発期間別に人員を管理していない（できない）
- (ウ) 進行中の研究開発の件数が多く、分類する負担が大きい
- (エ) 費用額で管理しているため、支出額で回答できない
- (オ) その他（具体的に記入してください。）

更問2 金額ではなく、大まかな割合で回答することはできますか。

研究開発期間	割合	%
1 年未満		
1 年以上 3 年未満		
3 年以上 5 年未満		
5 年以上		
期間を定めていない		
合計	1	0 0

(ア) 回答できる

(イ) 回答は困難

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。